

工事設計書

		設計		精査	
工事名	行橋駅西口トイレ改修工事の内建築主体工事				
工事場所	行橋市西宮市2丁目1				
工事費	工事価格	消費税	合計		
	+	=			
工事概要	内装改修工事 1.0 式				
起工理由	老朽化により、安全面・機能面等で不具合が生じた施設を改修し、利用者の安全性・利便性を確保するため。			補助内容	
				1 国庫	
				2 県費	
				3 市単独	

費目	工種	細目	単位	当初設計			変更設計			備考
				数量	単価	金額	数量	単価	金額	
A	直接工事費		式	1.0						
B	共通仮設費（率分）		式	1.0						
	純工事費									
C	現場管理費		式	1.0						
A1	発生材処分費		式	1.0						
	工事原価									
D	一般管理費		式	1.0						
	工事価格									
E	消費税		%	10.0						
	工事費（合計）									

費目	工種	細目	単位	当初設計			変更設計			備考
				数量	単価	金額	数量	単価	金額	
2	内装改修工事									
	天井吸音板張り	厚9 不燃 下張GB-R 厚12.5共	m2	40.5						
	天井廻縁	アルミ製	m	48.7						
	軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内)150×150mm程度	箇所	22.0						
	軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内)450×450mm程度	箇所	8.0						
	天井点検口	450角 アルミ製 枠共	箇所	8.0						
	壁珪藻土化粧板張り	抗菌仕様 t=3	m2	113.0						
	珪藻土化粧板下張り	珪藻土化粧板(2類)F☆☆☆☆耐水ペニキ t=9	m2	149.0						
	ビニル幅木	高さ100	m	48.7						
	軽量鉄骨天井下地	19形 ふところ1.5m以内 下地張りあり @360	m2	40.5						
	壁見切り縁	SUS製 W=260	m	4.6						
	壁見切り縁	SUS製 W=220	m	4.6						
	下がり壁見切り縁	アルミ製	m	3.9						
	シーリング	変性シリコン(MS-2)10×10	m	6.7						
	トイレフタ	TB-1	式	1.0						
	トイレフタ	TB-2	式	1.0						
	トイレフタ	TB-3	式	1.0						
	トイレフタ	TB-4	式	1.0						

費目	工種	細目	単位	当初設計			変更設計			備考
				数量	単価	金額	数量	単価	金額	
	自動閉鎖装置付引戸(定トルク式)	三方枠付・エンジン装置	式	1.0						
		無目付センサ・2ボタン式PHPシステム起動スイッチ								
		キックプレート両面SUS・t=1.5HL								
		亜鉛鋼板扉・t=0.8(アクリル樹脂焼付塗装)								
		枠ST=1.6(アクリル樹脂焼付塗装)								
	ライング 新設	250×650 t=20	個	1.0						別紙明細書1
	〃	250×800 t=20	個	1.0						別紙明細書2
	〃	250×900 t=20	個	1.0						別紙明細書3
	〃	250×1,000 t=20	個	4.0						別紙明細書4
	〃	250×1,500 t=20	個	1.0						別紙明細書5
	〃	250×1,600 t=20	個	1.0						別紙明細書6
	〃	250×2,000 t=20	個	1.0						別紙明細書7
	〃	250×2,700 t=20	個	1.0						別紙明細書8
	床モルタル塗り	金ごて	m2	40.5						
	ビニル床シート	抗菌・防滑仕様 多湿部	m2	40.5						
	ビニル床シート施工手間	ウレタン接着材	m2	40.5						
	床下地処理		m2	40.5						
	床見切り縁		m	1.5						
	床見切り施工手間		箇所	1.0						

内訳書

費目	工種	細目	単位	当初設計			変更設計			備考
				数量	単価	金額	数量	単価	金額	
3	撤去工事									
	天井ボート撤去	アスベスト含有 手壊し 集積共	m2	40.5						
	カッター入れ		m	10.4						
	既設自動ドア撤去	処分共	式	1.0						
	壁ボート撤去	アスベスト含有 手壊し 集積共	m2	13.2						
	壁下地撤去	集積共	m2	13.2						
	トイレブース撤去	集積共	m2	25.7						
	床タイル撤去	下地モルタル共 集積共	m2	40.5						
	床下点検口撤去	集積共	箇所	2.0						
	面台撤去	集積共	m2	3.0						
	天井下地撤去	集積共	m2	40.5						
	巾木撤去	集積共	m	48.7						
	小計									
	改め									

内訳書

行橋駅西口トイレ改修工事の内建築主体工事

〈現場説明書〉

1. 安全管理等について

- ・トイレ外（工事範囲外）の通路等はJRの施設となるため資材等を置かないこと。
- ・トイレ外（工事範囲外）での作業が発生する場合監督員及びJR担当者と協議・承諾後作業を行うこと。
- ・資材等の搬入は、ロータリー等で荷卸しし小運搬すること。
- ・資材等搬入時にクレーン等を使用する場合は、配置図に示す搬入経路で搬入すること。
（駅舎附近での荷卸しはできない。）
- ・工事車輛等の搬入出は、駅利用者等の安全を考慮して行うこと。
- ・工事箇所が利用者の動線と交差する場合があるため、交通誘導員等を適宜配置し、安全確保すること。
- ・仮囲い設置等は、状況に応じて、JR担当者及び監督者と協議すること。

2. 工程管理について

- ・JR担当者及び監督員と協議し、遅延無く工事を完了させること。
- ・JRは運営しながらの工事となるため、JR運用に極力支障がないよう工程管理を行うこと。

3. その他

- ・施工に当り現場付近の道路、樹木、工作物等に損傷を与えた場合は、請負者の負担によって早急に復旧しなければならない。
 - ・駐車場について、駐車スペースがないため、できるかぎり乗り合わせで来場し、周辺の駐車場等を確保すること。
 - ・施工計画書・材料承認等の必要書類は、早急に提出し承認を得てから施工を行う事。
 - ・施工体制台帳は、契約後、速やかに提出すること。
- 暴力団排除条項に該当するものを下請負人とした場合には、元請負人に対して下請負契約に解除を求めることができる。
- ・契約変更が生じる場合議会の承認が必要となるため、変更事由が発生した場合、すみやかに監督員に報告を行い対応を検討すること。
 - ・法令に基づき石綿(アスベスト)の事前調査及び報告を行い、石綿(アスベスト)が検出された場合は、監督員と協議の上、適正に処理すること。
 - ・下記工事と工期が重なるため、資材置き場、駐車スペース、工程等について協議を十分に行い、各工事ともに工期内に竣功できるよう協力しあうこと。

【行橋駅西口トイレ改修工事の内機械設備工事】

【行橋駅西口トイレ改修工事に伴う火災報知設備等改修工事】

- ・火災報知設備・非常放送設備・屋内消火栓設備等はJRの保守点検業者が行うため、事前協議を行い、施工すること。
- ・火災報知設備・非常放送設備・屋内消火栓設備等は工事範囲外にも繋がっているため、誤報・誤作動等が発生しないよう作業員に周知徹底及び注意喚起を行うこと。